

12月30、31、1月1日 越年山行 中央アルプス池山尾根～空木岳
メンバー；L谷内、宮坂、倉澤、若奈、結城

冬型気圧配置が緩んだ後の好天の周期に恵まれ池山尾根から空木岳を踏んできました。八ヶ岳同様拍子抜けするくらいの寡雪でテンバ設営にも苦慮するくらいで、しっかりトレースも残ってるなか微風の稜線散歩を楽しんできました。

12/30 晴れ、風あり

AM6 時茅野発 - 6 : 55 古城公園駐車。全く雪なし～7 : 15 発 - 8 : 37 林道終点 - タカウチ場辺りよりようやく雪出はじめる - 10 : 15 池山小屋。期待していた水場は凍ってしまっていた - 11 : 25 マセナギ。このあたりでテンバの予定であったが雪少なく時間も早いので核心部を越えることとす。大地獄は真新しい鎖がしっかり出ておりなんなく通過。問題の小地獄であるが夏道トラバースルートと直登ルート両方にトレースがついている。ここの通過のために登攀具、ロープを背負い上げたことでもあり迷わず直登ルートを選択。最初の1ピッチ目は滑りやすいヤセ尾根急登帯を灌木や木の根っこをつかみながら処理。2ピッチ目ガリー状は抜け口の岩が露出しておりロープ確保下に慎重に登る。3ピッチ目はしまったトレースのついたガリーを容易に登り切り終了。雪の状況によっては確かに核心部だなあという感じであった。ヨナ沢頭を過ぎ本日の幕場を求めていくがジャンボエスパースの適地がなかなか見つからない。14 : 20 尾根の南斜面に乏しい雪を整地しなんとか1時間かけテンバ設営。風もおさまり星空のもと明日の好天が期待されナベで入山祝いを楽しむ。

12/31 晴れ、風弱くおだやか

AM4 : 30 起床 - 6 時発 - 塩見岳の肩から上がる一日早い初日の出に感謝とお祈りをささげる - 森林限界から先、特に山頂直下ではクラストした斜面に慎重にアイゼンをきしませ 8 : 20 空木着。360 度ぐるりの絶景を楽しむ。北アもスッキリ見渡せ剣で頑張っているパーティーのヘリ救助がうまくいくことを期待しつつ下山 - 9 : 52 テンバ帰着。撤収後 10 : 35 下山 - 小地獄はトレースのついていない夏道トラバース道を通ったが状況によっては雪崩、滑落のリスク充分考えられるルートであった。トラバース道が使えない場合は直登ルートの下降しかないわけで、冬の池山尾根にはロープ・登攀具は必携なんだと実感。事実、小地獄では何件もの滑落事故が報告されている。 - 13 時池山小屋着。小屋内にテントを張らせていただき快適な一夜を過ごす。

1/1 快晴

温泉の営業時間を考慮しゆっくりめの AM5 時起床 - 6 : 30 下山 - 8 : 25 駐車場帰着。

